



9月 ほけんだより

虹のこころ保育園

9月9日は救急の日です。ご家庭での事故やけがへの注意は万全でしょうか？小さな子どもは、まだ何が危険かを予測することができず、好奇心旺盛で怖いもの知らずです。大人が、安全な環境を整えてあげましょう。

9月ほけん行事

- 1日(月) 頭髪検査
- 8日(月) 身体測定(幼児クラス)
- 16日(火) すみれ組身体測定
頭髪検査
- 17日(水) あじさい・よつば組身体測定



8月の感染症 発生人数

RSウイルス感染症7名 突発性発疹2名
溶連菌感染症・ヘルパンギーナ・水ぼうそう
コロナウイルス感染症各1名

まだまだ油断大敵 はしか(麻しん)

8月に千葉県内で麻しん患者が数名確認されています。麻しんは予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。まだ受けていないお子さんは、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

登園再開の目安

熱が下がってから3日たっていること

予防接種のタイミング

●1歳のお誕生日にMR

小さな子どもがはしかにかかる、合併症を起こしやすく、重症になることも。1歳になったらすぐに予防接種を受けましょう。



●ランドセルの準備とMR

MRワクチンは、2回接種が必要ですが、2回目の接種は忘れやすいもの。ランドセルの準備とMRワクチンの接種予約をいっしょに進めましょう。



受診すべき？ 迷ったときは



こどもの救急 (ONLINE QQ)

厚生労働省研究班と日本小児科学会の監修によるウェブサイトです。対象年齢は、生後1か月～6歳。発熱、おう吐、けが、誤飲など、気になる症状から細かいチェックリストに進み、受診の要不要を判定。看病のポイントも紹介されています。

こども医療電話相談 (365日受付) # 8000

全国同一の短縮番号# 8000に電話をすると、都道府県の相談窓口につながり、小児科医や看護師から、症状に合わせた対処法や受診の必要性、受診する病院についてのアドバイスが受けられます。

全国版救急受診アプリ「Q助」

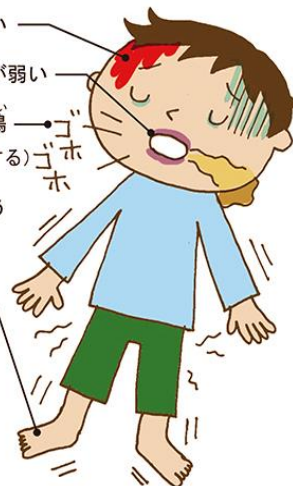
総務省消防庁が開発・提供しているアプリです。画面上で該当する症状を選択すると、緊急度に応じた対応(救急車を呼ぶ、早めに医療機関を受診、引き続き注意して様子を見るなど)が表示されます。医療機関や、受診手段の検索も行えます。

こんなときは

ためらわずに
救急車を!



- 出血が止まらない
- 唇が紫色で呼吸が弱い
- 激しいせきや喘鳴(呼吸がゼーゼーする)ゴホ
- 激しい腹痛、おう吐が止まらない
- 硬直している



こんなときも……

- ・意識がない、もうろうとしている
- ・全身にじんましんが出て、顔色が悪い
- ・けいれんが続く
- ・広範囲のやけど、痛みのひどいやけど
- ・3か月未満の乳児の様子がおかしい
- ・交通事故
- ・おぼれている
- ・高所からの転落

救急車が来たら 伝えること

- ☐ 事故や具合が悪くなった状況
- ☐ 救急隊が到着するまでの変化
- ☐ 行った応急手当の内容
- ☐ 子どもの情報
(持病、かかりつけ医、飲んでいる薬など)

病院に持っていくもの

- 健康保険証
- 医療費控除証(マル乳)
- 母子健康手帳 ●お薬手帳
- 体温表など経過のわかるもの
- 着替え(おむつ) ●お金